

番号：160307

国名：ザンビア

担当部署：産業開発・公共政策部民間セクターグループ第二チーム

案件名：品質・生産性向上(カイゼン)展開プロジェクトフェーズ2詳細計画策定調査
(評価分析)

1 担当業務、格付等

- (1) 担当業務：評価分析
- (2) 格付：3号～4号
- (3) 業務の種類：調査団参团

2 契約予定期間等

- (1) 全体期間：2016年6月下旬から2016年8月下旬まで
- (2) 業務M/M：国内 0.40M/M、現地 0.97M/M、合計 1.37M/M
- (3) 業務日数：準備期間 3日 現地作業期間 29日 整理期間 5日

3 簡易プロポーザル提出部数、期限、方法

- (1) 簡易プロポーザル：1部
 - (2) 見積書提出部数：1部
 - (3) 提出期限：6月1日(12時まで)
 - (4) 提出方法：専用アドレス (e-propo@jica.go.jp) への電子データの提出又は郵送
(〒102-8012 東京都千代田区二番町5番地25 二番町センタービル)
- (いずれも提出期限時刻必着)
- 提出方法等詳細については JICA ホームページ (ホーム>JICA について>調達情報>調達ガイドライン、様式>業務実施契約(単独型)(2014年4月以降契約)>業務実施契約(単独型)簡易プロポーザルの電子提出について)

(http://www.jica.go.jp/announce/manual/form/consul_gt/20150618.html)

をご覧ください。なお、JICA 本部 1 階調達部受付での受領は廃止しておりますので、ご持参いただいても受領致しかねます。ご注意ください。

(5) 評価結果の通知：提出されたプロポーザルは JICA で評価・選考の上、各プロポーザル提出者の契約交渉順位を決定し、2016年6月14日(火)までに個別に通知します。

4 プロポーザル評価項目及び配点

- (1) 業務の実施方針等
 - ① 業務実施の基本方針 16点
 - ② 業務実施上のバックアップ体制等 4点
 - (2) 業務従事予定者の経験・能力等
 - ③ 類似業務の経験 40点
 - ④ 対象国又は同類似地域での業務経験 8点
 - ⑤ 語学力 16点
 - ⑥ その他学位、資格等 16点
- (計 100 点)

| | |
|----------|-------------|
| 類似業務 | 評価分析に係る各種業務 |
| 対象国／類似地域 | ザンビア／全途上国 |
| 語学の種類 | 英語 |

5 条件等

- (1) 参加資格のない社等：なし
- (2) 必要予防接種：黄熱病

6 業務の背景

ザンビアの民間セクターは、少数の大企業と大多数の零細・中小企業（MSMEs）で構成される。MSMEsの多くは地方部にあるため、大企業と比べて、利用可能な社会サービスや経済インフラに格差があり、生産性も低い。また、国内の産業の中での競争は活発ではなく、大企業が市場シェアを減らすことなく高い生産コストを販売価格に転嫁できる構造となっており、ザンビア国の産業全体が低い生産性にとどまっている状況にある。

このような背景のもと、JICAは同国政府の要請に基づき、民間セクターの生産性向上を目的とするシニア海外ボランティア（SV）を2008年から派遣し、QC（Quality Control）サークル活動を主軸とするカイゼン（品質・生産性向上）活動の導入を支援した。続く2010年からは技術協力「ザンビア投資促進プロジェクトトライアングル・オブ・ホープ」（2009年－2012年）の一部として、ザンビア開発庁（ZDA）を中心に、カイゼン活動の適用分野の拡大と全国的な生産性向上、これらによる投資環境の向上を目指した活動の継続を支援し、カイゼン活動が幅広く展開され、産業の競争力強化に寄与する潜在性を持っていることが認知された。

同国政府は、カイゼン活動の一層の拡大と定着を目指し、カイゼン活動の運営組織としてザンビアカイゼン機構（KIZ）の設立を決定し、同機構の能力向上とカイゼン活動を普及する指導員（カイゼンコンサルタント）の育成等に関する協力を我が国へ要請し、JICAは開発調査型技術協力「品質・生産性向上（カイゼン）展開プロジェクト」（以下、フェーズ1プロジェクト）を2014年2月から2016年12月まで実施している。同プロジェクトでは、カイゼンマスタープラン（M/P）の策定を含むKIZの機能強化、カイゼンコンサルタント等の育成、カイゼン活動に関する広報活動等を実施し、カイゼンの概念及び技術を普及する体制の整備を支援した。

同国政府はフェーズ1プロジェクトの成果を踏まえ、より高度なカイゼン技術の導入と普及、カイゼンコンサルタントの更なる育成等を目指す技術協力「品質・生産性向上（カイゼン）展開プロジェクトフェーズ2」（以下、本プロジェクト）を我が国政府へ要請した。

今回実施する詳細計画策定調査は、フェーズ1プロジェクトの成果・実績、KIZ及びカイゼンコンサルタントのカイゼン活動実施体制・能力・課題を確認した上で、本プロジェクトの協力内容や協力アプローチを確定し、計画枠組み、実施体制、成果と活動等を整理した上で、本プロジェクトの内容を確認・協議し、本プロジェクト関わる合意文書（M/M）を締結するとともに、事前評価を行うことを目的として実施するものである。

7 業務の内容

本業務従事者は、技術協力プロジェクトの仕組み及び手続を十分に把握のうえ、調査団員として派遣されるJICA職員と協議しつつ、担当分野に係る協力計画の策定と評価5項目（妥当性、有効性、効率性、インパクト、持続性）に基づく事前評価に必要なデータ、情報を収集、整理し分析するために必要な以下の調査を行う。

具体的担当事項は次のとおりとする。

(1) 国内準備期間（2016年6月下旬）

- ① フェーズ1の協力の成果、実績の確認、本プロジェクトの要請背景及び内容を把握する（フェーズ1に関する各種報告書、本プロジェクト要請書、及び関連情報等の資料・情報を収集・分析し、ザンビアの開発計画における本プロジェクトの位置付けや、協力対象分野における政策・制度の現状、産業育成、貿易促進、投資促進等民間セク

ター開発の課題に対する開発動向を把握する)。

- ② 上記を踏まえ、調査計画・方針(案)を検討し、現地調査で収集すべき情報を検討する。
- ③ カウンターパート機関や関係機関、他ドナー等に対する質問票案(英文)を作成する。
- ④ プロジェクトのPDM (Project Design Matrix) 案(和文、英文)及びPO (Plan of Operation) 案(和文、英文)を検討する。
- ⑤ 調査団打ち合わせ及び対処方針会議等に参加する。

(2) 現地作業期間(2016年6月下旬~7月下旬)

- ① JICA ザンビア事務所等との打合せに参加する。
- ② ザンビア側関係機関との協議及び現地調査等に参加する。
- ③ 本調査の趣旨・実施方法についてザンビア側に説明を行う。
- ④ 以下の情報及び資料を収集し、必要に応じて関係者にインタビューを行い、現状を把握し、プロジェクトの協力範囲、達成目標と実現可能性、プロジェクト関係機関の役割分担等の検討においてJICA団員に協力する。
 - (ア) ザンビア政府の産業政策、特に産業育成及び競争力強化に係る政策における本プロジェクトの位置づけ
 - (イ) 商業貿易産業省(MCTI)、KIZ及びカイゼンコンサルタントのカイゼン活動実施体制(組織・予算・他省庁との関係等)と今後の組織及びカイゼン活動の拡充計画
 - (ウ) フェーズ1プロジェクトの成果・実績
 - ・KIZの能力向上及びカイゼンM/Pの策定
 - ・カイゼンコンサルタント及びカイゼンコーディネーター育成プログラムの内容(教材・マニュアル等、トレーニングプログラム)
 - ・カイゼンコンサルタントの育成状況及び能力評価
 - ・OJT企業等カイゼンを導入した企業のカイゼン実施状況及び効果(カイゼンコーディネーターの活動状況を含む)
 - ・カイゼン活動の広報・情報発信等、普及促進の取組み及び効果
 - (エ) 本プロジェクトのターゲットグループ(民間企業、公的セクター等)の確認及びカイゼン導入ニーズの確認
 - (オ) 商工会議所等経済団体の産業競争力強化支援の状況及び本プロジェクトとの連携方法の検討
 - (カ) 他ドナー・援助機関等の民間セクター開発分野における援助動向
- ⑤ 上記調査結果をふまえ、調査団及びザンビア側と協議の上、PDM(案)(和文、英文)、PO(案)(和文、英文)の作成を支援する。
- ⑥ ザンビア側との協議で合意された内容に基づき、R/D(案)(英文)及びM/M(案)(英文)の作成に協力する。
- ⑦ 評価5項目(妥当性、有効性、効率性、インパクト、持続性)の観点からプロジェクトを分析する。
- ⑧ 担当分野に係る現地調査結果をJICAザンビア事務所等へ報告する。

(3) 帰国後整理期間(2016年7月下旬~8月下旬)

- ① 事業事前評価表(案)(和文、英文)の作成する。
- ② 帰国報告会、団内打ち合わせに出席し、担当分野に係る調査結果を報告する。
- ③ 担当分野に係る詳細計画策定調査報告書(案)(和文)を作成し、全体の取りまとめに協力する。

8 成果品等

業務の実施過程で作成、提出する報告書等は以下のとおり。

なお、本契約における成果品は、(1)～(2)とし、電子データをもって提出することとする。

- (1) 担当分野に係る詳細計画策定調査報告書(案)(和文)
- (2) 事業事前評価表(案)(和文・英文)
- (3) 面談記録

9 見積書作成に係る留意点

本公示の積算を行うにあたっては、「JICAコンサルタント等契約における見積書作成ガイドライン」(<http://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/quotation.html>)を参照願います。留意事項は以下のとおり。

- (1) 航空賃及び日当・宿泊料等

航空賃及び日当・宿泊料等は契約に含めず、JICAから別途支給します(見積書の航空賃及び日当・宿泊料等欄には0円と記載してください)。

10 特記事項

- (1) 業務日程／執務環境

- ① 現地業務日程

本業務従事者の現地調査期間は、2016年6月25日～7月23日を予定しています。

なお、ザンビアにおける訪問地はルサカ州、中央州、コッパーベルト州他プロジェクト対象州を予定しています。

本業務従事者は、JICA職員の現地調査期間に約2週間先行し調査を開始する予定です。

- ② 現地での業務体制

本業務に係る調査団構成は、以下のとおりです。

- (ア) 総括(JICA)
- (イ) 協力企画(JICA)
- (ウ) 評価分析(本コンサルタント)

- ③ 便宜供与内容

JICAザンビア事務所による便宜供与事項は以下のとおりです。

- (ア) 空港送迎

あり

- (イ) 宿舎手配

あり

- (ウ) 車両借上

全行程に対する移動車両の提供(JICA職員等の調査期間については、職員等と同乗。)

- (エ) 通訳備上

なし

- (オ) 現地日程のアレンジ

あり

- (カ) 執務スペースの提供

なし

- (2) 参考資料

本業務に関する以下の資料をJICA産業開発・公共政策部民間セクターグループ第二チーム(TEL:03-5226-3227)で配布します。

- ① 本プロジェクトに係るザンビア政府からの要請書

- ② ザンビア国品質・生産性向上（カイゼン）展開プロジェクトに関する以下の報告書
- ア. 詳細計画策定報告書（案）
 - イ. インテリムレポート
 - ウ. プログレスレポート（その3）

また、以下の資料についてはJICA図書館のウェブサイトで公開されています。

- ③ ザンビア国品質・生産性向上（カイゼン）展開プロジェクト案件概要
<http://gwweb.jica.go.jp/km/ProjectView.nsf/fd8d16591192018749256bf300087cf/d/68b813e099bcb48d49257c150079d128?OpenDocument>

(3) その他

- ① 品質・生産性向上、カイゼン等中小企業支援にかかる業務経験があることが望ましい。
- ② 業務実施契約（単独型）については、単独（1名）の業務従事者の提案を求めている制度ですので、複数の業務従事者によるプロポーザルは無効とさせていただきます。
- ③ 「JICA不正腐敗防止ガイダンス（2014年10月）」の趣旨を念頭に本業務を実施ください。なお、疑義事項が生じた場合は、不正腐敗情報相談窓口又はJICA担当者に速やかにご相談ください。
- ④ 現地作業期間中は安全管理に十分留意してください。現地の治安状況については、JICAザンビア事務所などにおいて十分な情報収集を行うとともに、現地作業の安全確保のための関係諸機関に対する協力依頼及び調整作業を十分に行うこととします。また、同事務所と常時連絡が取れる体制とし、特に地方にて活動を行う場合は、現地の治安状況、移動手段等について同事務所と緊密に連絡を取る様に留意することとします。また現地作業期間中における安全管理体制をプロポーザルに記載してください。

以上